目指せ! 企業繁栄の旗印

ランチェスター先生の偉大さと法則のルーツを知った、イギリス見聞録

1914年10月２日、フレデリック・W・ランチェスター先生によって、一つの法則が発表されました。そして2014年10月、ランチェスター先生ゆかりの地を巡る100周年記念の旅は、行く先々で私たちに大きな感動をくれました。

ランチェスター先生の旧宅はバーミンガムにあり、今でもトーマスさんという老人が住んでいます。築100年以上の家を大切に住むのはお国柄のようで、庭の手入れも行き届いていました。驚いたのは、この家に日本の自動車会社の技術者たちが泊まりに来るとのこと。技術者にとって、ランチェスター先生は特別な存在なのです。

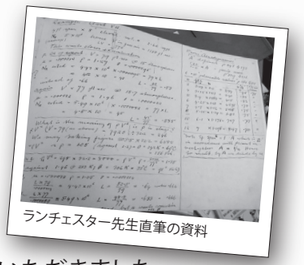
ランチェスター先生旧宅で記念写真

ランチェスター先生は自動車会社の社長でしたが、経営には向いていませんでした。しかし優れた技術者で、彼が開発した自動車は高く評価され、皇室でも愛用されました。ランチェスター自動車会社の工場跡地を見学させてもらうと、当時を偲ばせる煉瓦がたくさん積んであったので、私は記念に煉瓦の破片をもらいました。

自動車工場

ランチェスターカー

ランチェスター先生は会社経営を辞め、技術コンサルタントとして大成します。そして、機械工学のための法則として、ランチェスター法則を見出すのです。やがて先生の功績を讃え、技術専門の単科大学・ランチェスター大学が創立されます。ランチェスター大学は現在、総合大学の国立コベントリー大学になっていますが、大学の図書館には、ランチェスター法則の原書や先生直筆の資料が保管されています。私たちはランチェスター財団の計らいで貴重な書籍や資料を見せていただきました。


ランチェスター先生直筆の資料

ランチェスター財団は科学者・数学者・エンジニアらをインスパイアし、事業や発明の発展を奨励するために活動しています。私はランチェスター先生の遺志を継いだ活動に感銘を受け、すぐに会員になりました。日本人では２人目とか。「アジアの普及は僕がやります」と宣言までしてきました（笑）。

100年前のイギリスで機械工学のために生まれた法則が、アメリカへ渡って戦争に応用され、さらに日本に渡って経営に用いられるようになったのです。ランチェスター法則のルーツを知り、さらに生みの親であるランチェスター先生の生き方に触れた旅は、私の人生における大きなエポックとなりました。

山内経営コンサルティング事務所
代表　山内 修

心が元気になる話

人はなぜお墓参りをするのか？

今回の旅の始まりに、参加者全員でランチェスター先生のお墓参りをしました。

そもそも、この記念旅行が大変充実した旅となったのは、ランチェスター経営株式会社の竹田陽一先生が過去に6度もイギリスへ渡り、ランチェスター財団をはじめとする関係者と良好な人間関係を築いてくれていたからに他なりません。心より感謝いたします。

竹田先生は6度の渡英で、必ずランチェスター先生のお墓参りをしてきたそうです。最初の渡英では、ランチェスター先生のお墓が見つけられずに帰国し、すぐに英語が堪能なお嬢様と奥様をイギリスへ行かせ、ランチェスター先生のお墓を見つけさせたというエピソードまであります。

どうしてそこまで、お墓参りにこだわるのか、竹田先生に伺ってみました。すると「人には儀式が必要なんだよ」と。「人間とは意志の弱い生き物でね、一度決心しても挫折したり、諦めたくなったり…。だから儀式を行なうことで、初心を思い出し、気持ちを奮い立たせる必要があるんだ。結婚式や披露宴も同じ理屈だよ。あれだけたくさんの人の前で誓いを立てたんだ、そう簡単には別れられないぞ、って思うでしょ。結婚式や披露宴という儀式がなくなったら、離婚率はずっと高くなるかもしれない」。

ランチェスター先生のお墓は、ロンドンから南へ２時間ほど行ったヘイワーズヒース市にありました。イギリスにはお墓参りの習慣がないので、他のお墓は風化して傷んでいましたが、ランチェスター先生のお墓は市に管理され、きちんと手入れされていました。

竹田先生はランチェスターのロゴ入りシャツを着て、お墓の前に立ち、何か語りかけているようでした。私はお墓の前でしばらく固まっていました。その時の感覚は特別で、帰国してからジワジワと甦ってきます。日に日に自分の決心が揺るがなくなる気がします。人はなぜお墓参りをするのか、儀式が必要なのか、納得できた経験でした。

ランチェスター先生のお墓にて。後ろ姿は竹田先生。

スタッフ日記 ～今年を振り返って～

中村優子

2013年は今まで生きてきた中で一番、あっという間に過ぎた一年でした。『社長塾』『成功塾』、月に1度の『特別講演会』と自分でも「よく続けてこれたな」と驚くばかりです。始めた頃は、このままだと社労士として行政書士として取り残されるのでは…という焦りも正直ありましたが、「とにかく経営者のお役に立ちたい」という思いで毎日頑張っていたら、自分自身も講師となり、従業員のメンタルケアなど新しい分野を任せていただけるようになりました。目の前のことを一生懸命やっていれば、必ず道は開けてくるんだと実感した一年でした。出会えた皆さんに本当に感謝しています。

服部 薫

本業であった、ペット信託契約・ペット遺言書作成の業務に専念するため、このたび退社することになりました。12月20日にはペットの飼い主様にむけた書籍も出す予定です。『経営者の学校』を通じて多くの方と知り合い、行政書士として一経営者として様々なことを学ばせていただきました。本当にありがとうございました。

編集後記

『山内経営ニュース』をリニュアル創刊して1年が経ちました。毎号、皆様からいただくご意見・ご感想が私たちの励みになっています。つたない文章にお付合いいただき、スタッフ一同心より感謝申し上げます。次号は新しい年を迎えてお届けします。皆様、よいお年を！（山内）

山内経営コンサルティング事務所
〒810-0001
福岡市中央区天神４－８－２天神ビルプラス８階
TEL：092-718-9500　FAX：092-724-4666
ホームページ　山内経営　検索